

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2. 工具及び付属部品の確認	3
3. 取付・設置の事前確認	
(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認	4
(2) 強度確認	4
(3) 電源取り出し位置の確認	4
工事区分	5
4. 取付・設置手順	
(1) キャビネットの配置	5
(2) キャビネットの取付 食品庫・食器戸棚	6～7
(3) サイドユニットの取付け	7～8
(4) 大型引き戸付食器戸棚の取付け	8
(5) パーテーションの取付け	9
(6) 薄型収納の取付け	9
(7) 家電収納トールの配線工事（2口コンセント）	9
(8) 家電収納トールの配線工事（1口コンセント）	10
(9) 蒸気排出ユニット付家電品収納トールへの取付	10
(10) 蒸気排出ユニットの配線工事	10～11
(11) ダンパーの取外し方法・取付方法	11
(12) 扉・引出しの調整方法	
①扉の調整方法	12
②引出し前板の調整方法（Aタイプ）	13
③引出し前板の調整方法（B・Cタイプ）	13
④引出し前板の調整方法（D・Eタイプ）	14
⑤引出し前板の調整方法（ロック機構付タイプ）	15
⑥ロック機構解除方法	15～16
⑦引出しの取外し方法（A・B・Cタイプ）	16
⑧引出しの取付け方法（A・B・Cタイプ）	17
⑨引出しの取外し方法（D・E・Fタイプ）	17
⑩引出しの取付け方法（D・E・Fタイプ）	18
⑪引出し前板の取外しと取付け方法（D・E・Fタイプ）	18
⑫引出し前板と引出しの固定	19
(13) ロック機構について	19
(14) 機器の設置、電気工事	20
5. 仕上げ	
(1) 清掃	20
6. 点検	
(1) 安全点検	20
7. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	20
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	20
8. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	20

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はトールユニットのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください。正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

トールユニットの設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

キッチンに組み込まれる電気機器、換気フード等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



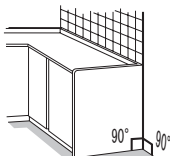
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

トールユニットの固定は付属の取付ネジ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

製品は平滑な壁面にしっかりと固定する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



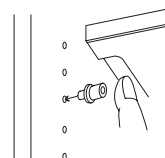
注意

取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。



誤った使い方をすると、人体の影響が出たり、仕様部材の損傷や劣化の原因となります。

棚板を設置する時は、棚受をすきまのないように根元まで確実に差し込む。



棚板がはずれて収納物が落下してけがをするおそれがあります。

1. 安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

キャビネットに乗らない。



製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。



電気工事は関連する法令、規程にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



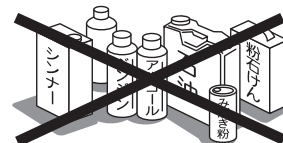
感電のおそれがあります。



清掃時には台所用中性洗剤を使用する。



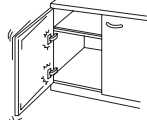
その他の洗剤およびベンジン・シンナーなどを使用すると、製品の変色、変質の原因になります。



取付・設置完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみがないことを必ず確認する。



使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

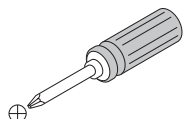


2. 工具及び附属品の確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー

● 充電ドライバー（電気）



<付属部品>

● トールユニットには下記の部品が梱包されています。不足品のないことをご確認ください。

トールリオ

付属部品	食品庫			食器戸棚(壁付)			食器戸棚(ハッチ)		サイドユニット		大型引き戸付食器戸棚		薄型収納庫		上置戸棚			
	TTFBU	TTFBFS		TTCBU	TTCBS		TTCBH	TTRBU	TTRBS	TTRBUU	TTRBUS	TTCBUA	TTCBSA	TKCUHSDU	TKCUHSDS	TSI		
		W600~900	W450以下		W600~900	W450以下										W900	W750以下	W750以下
コーススレッド φ4.2×65	4本	2本	2本	4本	2本	2本	2本	4本	2本	4本	2本	4本	2本	5本	2本	5本	4本	-
サマネジ φ3.5×32	-	-	-	-	-	-	-	4本	-	4本	-	-	-	-	-	-	-	-
コーススレッド φ3.8×28	4本	5本	2本	4本	5本	2本	4本	6本	4本	8本	4本	4本	4本	2本	-	-	-	-
トラスタピンネジ φ3.5×13	-	4本	4本	-	4本	4本	-	-	-	8本	-	-	-	-	-	-	-	-
サラスタピンネジ φ3.5×40	-	4本	4本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連結ワッシャー	8個	11個	8個	8個	7個	4個	6個	10個	6個	12個	6個	8個	6個	7個	2個	5個	4個	-
化粧キャップ	8個	11個	8個	8個	7個	4個	6個	10個	6個	12個	6個	8個	6個	7個	2個	5個	4個	-
棚受け	12個	-	-	12個	-	-	8個	8個	-	16個	4個	24個	-	8個	16個	4個	4個	4個
棚板	3枚	-	-	3枚	-	-	2枚	2枚	-	中:2枚 小:2枚	1枚	6枚	-	2枚	4枚	1枚	1枚	1枚
ふさぎ板	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

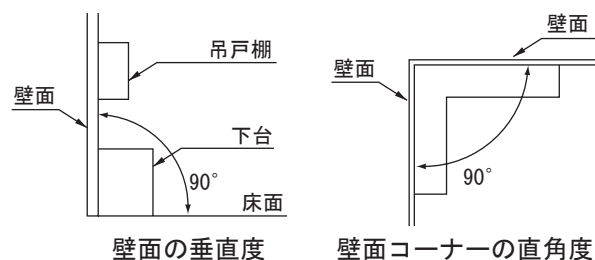
エクセラアLovee・WS

付属部品	食器戸棚(壁付)										大型引き戸付食器戸棚				上置戸棚		家電収納トール			
	STCBU		STCBS		STCBS-DR		STCBSE	WTCBU		WTCBS		STCBUA	STCBSA	SSL/WSI		STCBUK	STCBUKJ	STCBSK	STCBSKE	
	W900	W750以下	W600～900	W450以下	W600～900	W450以下		W900	W750以下	W600～900	W450以下			W900	W750以下					
コーススレッド φ4.2×65	5本	4本	2本	2本	2本	2本	2本	5本	4本	2本	2本	4本	2本	5本	4本	4本	4本	2本	2本	
コーススレッド φ3.8×28	4本	4本	3本	2本	3本	2本	3本	4本	4本	3本	2本	4本	4本	-	-	4本	4本	2本	8本	
トラスタピンネジ φ3.5×13	-	-	8本	4本	8本	4本	4本	-	-	8本	4本	-	-	-	-	-	-	-	-	
サラスタピンネジ φ3.0×16	-	-	-	-	-	-	4本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4本	
連結ワッシャー	9個	8個	5個	4個	5個	4個	5個	9個	8個	5個	4個	8個	6個	5個	4個	8個	6個	4個	10個	
化粧キャップ	9個	8個	5個	4個	5個	4個	5個	9個	8個	5個	4個	8個	6個	5個	4個	8個	6個	4個	10個	
棚受け	12個	12個	-	-	-	-	-	12個	12個	-	-	24個	-	4個	4個	-	-	-	-	
棚板	3枚	3枚	-	-	-	-	-	3枚	3枚	-	-	6枚	-	1枚	1枚	-	-	-	-	
WFケーブル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2本	-	-	
コーナーコネクター	-	-	-	-	-	-	1セット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1セット	

3. 取付・設置の事前確認

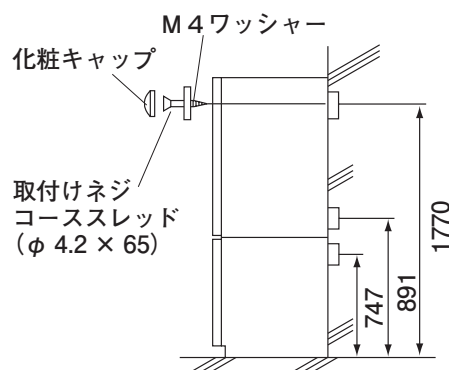
(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認

- 製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。
- トールユニットは、上下2つのキャビネットに分かれていますので、現地で組み立ててください。



(2) 強度確認

- 製品を設置しようとする壁面には、右図に示す位置に固定できる補強があることを確認してください。



⚠ 注 意

- 設置する床面の木クズ、ゴミは取り除く。

床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずるおそれがあります。



- 製品は、平滑な壁面にしっかりと固定する。

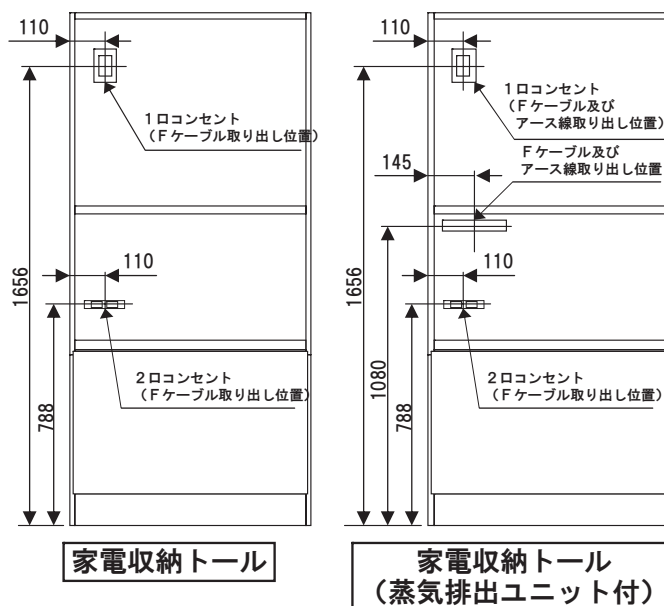
製品が倒れてけがをするおそれがあります。

また、扉の段違いや引出しの不ぞろいを生ずるおそれがあります。



(3) 電源取り出し位置の確認

- 家電収納トールの後壁にFケーブル（芯線φ 1.6 ~ 2.0）を右図の位置に取り出しておいてください。



3. 取付・設置の事前確認（続き）

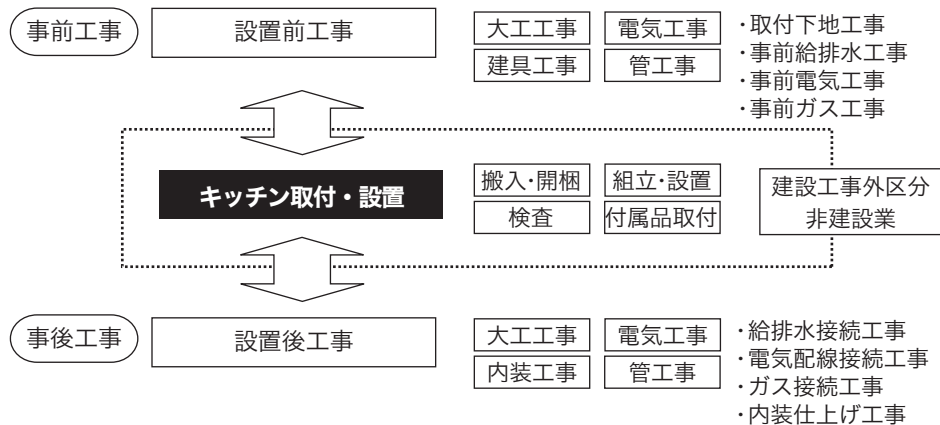
工事区分

警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分

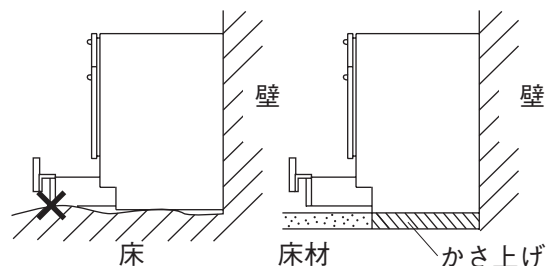


4. 取付・設置手順

(1) キャビネットの配置

- ① 設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。
- ② キャビネットは取付・設置図を参照して並べてください。
- ③ 水平器を使用してキャビネットの水平が出ているか確認してください。
水平が出ていない場合はキャビネットと床の間にスペーサー等を入れて水平を出します。

- フットスペース収納タイプは引出しが床面近くにありますが、床面は水平で平滑に仕上げ、不陸には十分注意してください。
また、キャビネット設置後に床仕上げを行う場合は、あらかじめ床材の厚み分キャビネットをかさ上げして設置してください。

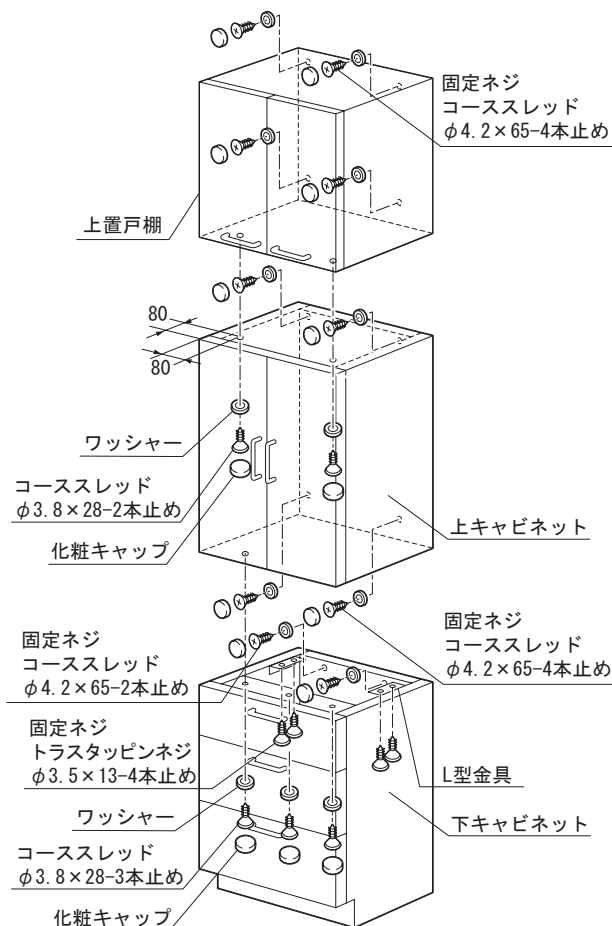
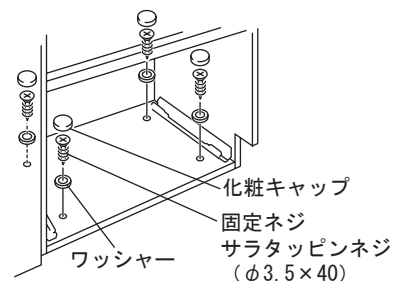


4. 取付・設置手順（続き）

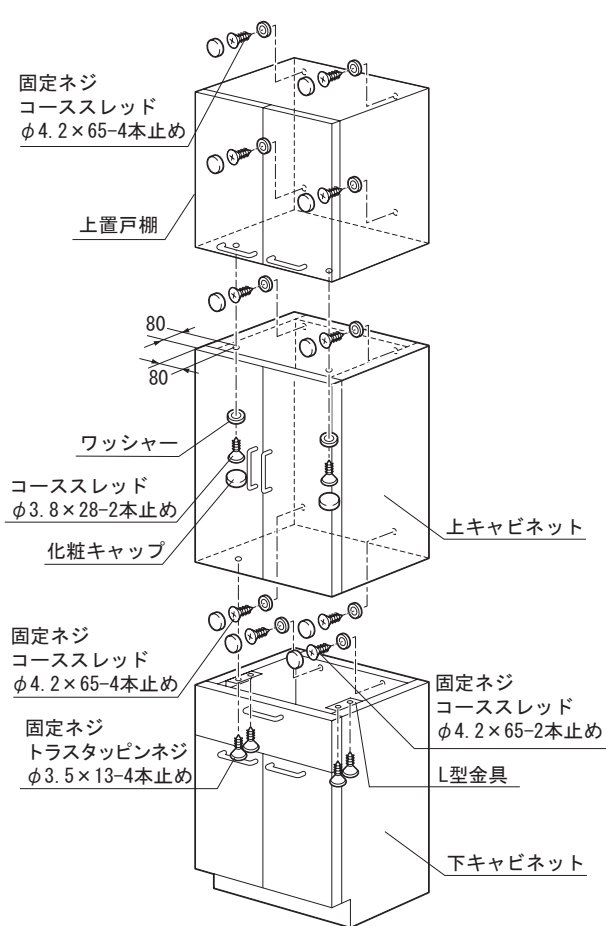
（2）キャビネットの取付け

食品庫・食器戸棚

- ① 下キャビネットを設置後、上部に上キャビネットを仮置きし、前後左右の位置を調整後、下キャビネットの側板に取付けてあるL型金具のネジ穴より上キャビネットに向かって固定ネジ（トラスタッピンネジ $\phi 3.5 \times 13$ ）で固定してください。
更に間口 600 ～ 900 は固定ネジ（ $\phi 3.8 \times 28$ コーススレッド）にワッシャーを通してヨコサンの下穴より上キャビネットに向かって固定してください。
固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。
- ② 固定ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）にワッシャーを通し、下キャビネット・上キャビネットの背面の固定穴より壁面に確実に固定してください。
固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。
- ③ 上置戸棚を取付ける場合は、上キャビネットの上部に上置戸棚を仮置きし、前後左右の位置を調整後、上キャビネットの内側より上置戸棚に向かって固定ネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）にワッシャーを通して固定し、最後に固定ネジ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）にワッシャーを通し上置戸棚背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。
固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。
- ④ キャビネットの床固定（フットスペース収納タイプの場合）
 - 1) 引出しを取り外します。
取外し方法は P. 17 (9) 引出しの取外し方法（D・E・Fタイプ）を参照してください。
 - 2) キャビネットの転倒防止のため、キャビネット底板の下穴に付属のキャビネット固定ネジにワッシャーを通して床面へ向かって固定してください。
固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。



間口 600 ～ 900



間口 450 以下

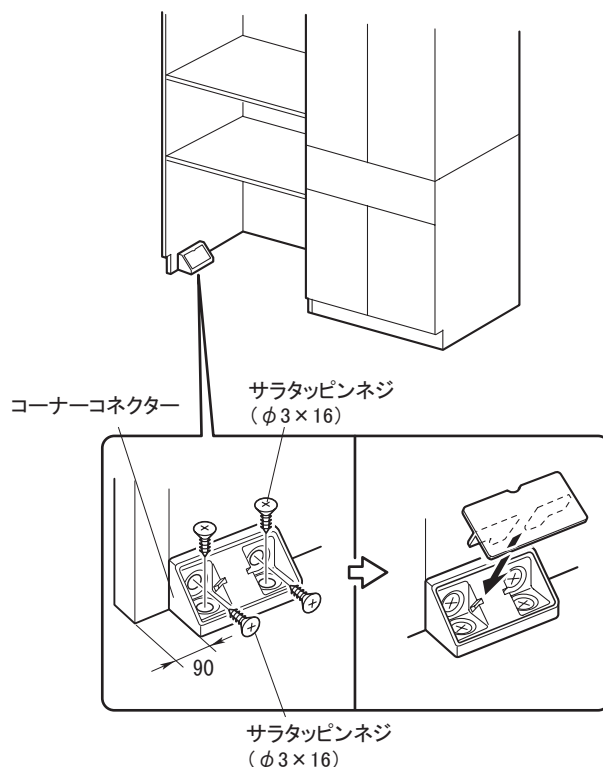
4. 取付・設置手順（続き）

（2）キャビネットの取付け（続き）

食品庫・食器戸棚

● フリースペース付家電収納トールユニットの隣に壁またはびキャビネットが隣接しない場合

- 1) 側板内側手前（ケコミ付近）を部品袋のコーナーコネクターで固定してください。
- 2) コーナーコネクターを固定したら、付属のキャップを被せてください。



⚠ 注 意

- キャビネットを設置する床下に床暖房設備のある場合は、床暖房設備を破損しないようにキャビネットを固定する。



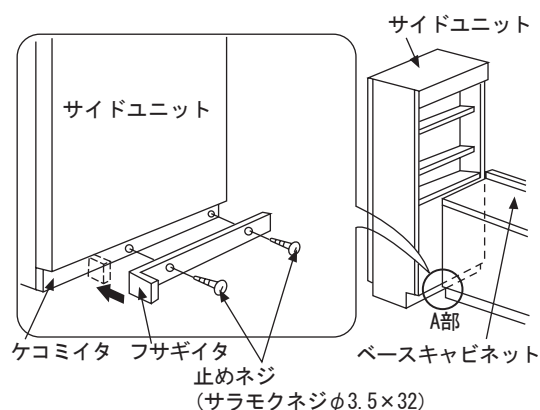
- トールユニットの固定は製品内部から付属の取付ネジ（コーススレッド φ 4.2 × 65）とワッシャーにより壁面に確実に固定し、化粧キャップを取付ける。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

（3）サイドユニットの取付け

- ① サイドユニットの横にベースキャビネットを設置する場合、ケコミ部分 A 部に隙間が生じないように、右図に従って、サイドユニットのベースキャビネット側のケコミ板に付属されているふさぎ板を取付けてください。
- ② 壁面がコンクリートかモルタル仕上げの場合には、壁面に受け木または木レンガを埋め込んでください。また、前述以外の壁面の場合でも取付けられる桟または受け木があるか確認の上、設置するようにしてください。



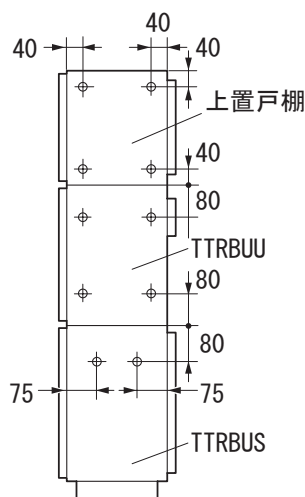
4. 取付・設置手順（続き）

（3）サイドユニットの取付け（続き）

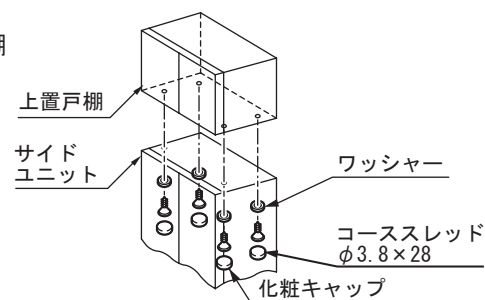
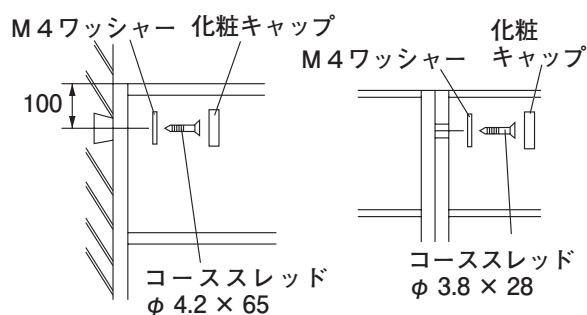
- ③ 壁面側の側板に壁取付用下穴φ4をあけ、付属のコーススレッド（φ4.2×65）で固定してください。TTRBUUは4ヶ所固定、TTRBUSは2ヶ所固定します。

- ④ 本品の隣に他のツールユニット、カウンターユニット及びパーテーションが据付けされている場合は、付属のコーススレッド（φ3.8×28）で連結してください。

- ⑤ 上置戸棚を取付ける場合は、サイドユニットの上部に上置戸棚を仮置きし、前後左右の位置を調整後、サイドユニットの内側より上置戸棚に向かって固定ネジ（コーススレッドφ3.8×28）で固定し、最後に上置戸棚背面の固定用穴より固定ネジ（コーススレッドφ4.2×65）で壁面に確実に固定してください。



壁面固定位置



（4）大型引き戸付食器戸棚の取付け

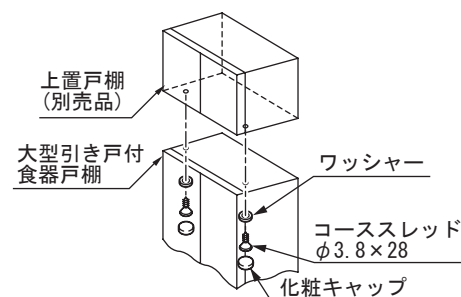
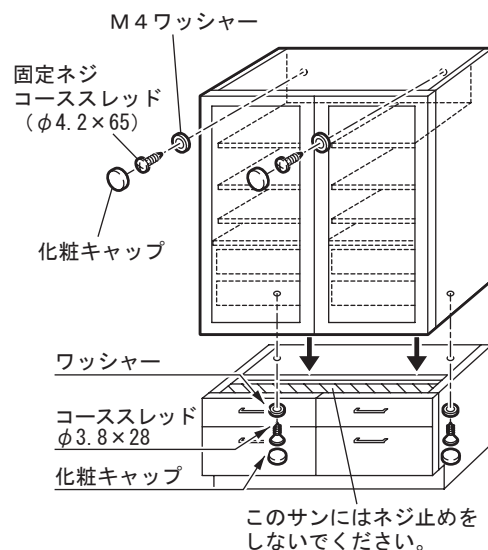
- ① キャビネットの下台を設置して、キャビネットの上台を下台の上に仮置きし、前後左右の位置を調整後、下台の内側より上台に向かって固定ネジ（コーススレッドφ3.8×28）で固定してください。

- ② 製品を壁面に付属のコーススレッド（φ4.2×65）とワッシャーで確実に固定して、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。

- ③ 別梱包のスライド引戸は、スライド引戸に同梱の説明書に従って取付けてください。

- ④ 上置戸棚を取付ける場合は、大型引き戸付食器戸棚の上部に上置戸棚を仮置きし、前後左右の位置を調整後、大型引き戸付食器戸棚の内側より上置戸棚に向かって固定ネジ（コーススレッドφ3.8×28）で固定し、最後に上置戸棚背面の固定用穴より固定ネジ（コーススレッドφ4.2×65）で壁面に確実に固定してください。

- ⑤ スライド引戸の調整方法は、スライド引戸に同梱の取付・設置説明書を参照ください。



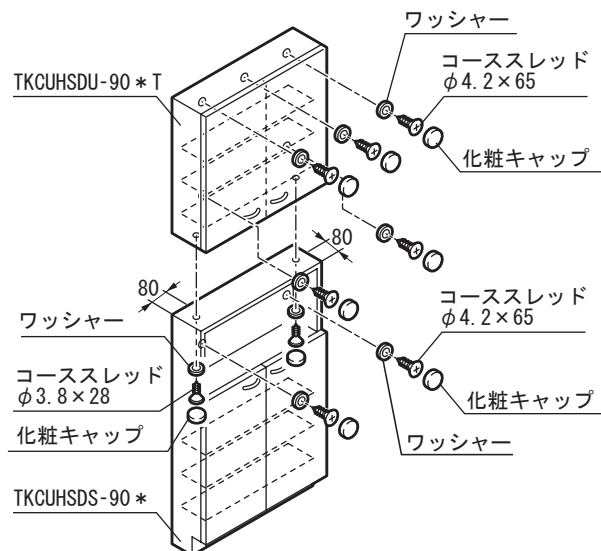
4. 取付・設置手順（続き）

（5）パーテーションの取付け

キャビネット設置後パーテーションがある場合はパーテーション取付・設置説明書を参照して取付けてください。

（6）薄型収納棚の取付け

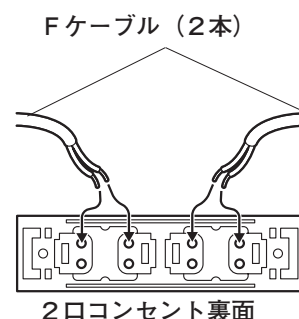
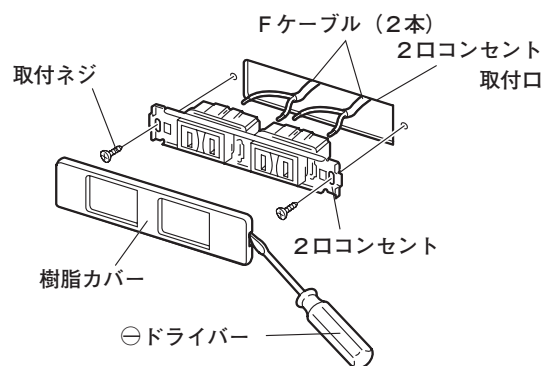
- ① キャビネットの下台 (TKCUHSDS-90 *) を設置して、キャビネットの上台 (TKCUHSDU-90 * T) を下台の上に仮置きし、前後左右の位置を調整後、下台の内側より上台に向かって固定ネジ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）で固定してください。
- ② 製品を壁面に付属のコーススレッド（ $\phi 4.2 \times 65$ ）とワッシャーで確実に固定して、ネジ頭に化粧キャップを取付けてください。



（7）家電品収納トールの配線工事（2口コンセント）

事後工事

- ① キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝に $\ominus$ ドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- ② 取付枠の左右の取付ネジを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- ③ 2口コンセント取付口よりFケーブル（2本）をキャビネット内に引き込み、2口コンセントに接続してください。
 - Fケーブルは芯線が $\phi 1.6$ のものをお使いください。
 - Fケーブルの接続コードの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - Fケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- ④ 配線工事終了後、2口コンセントを ① で取外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。

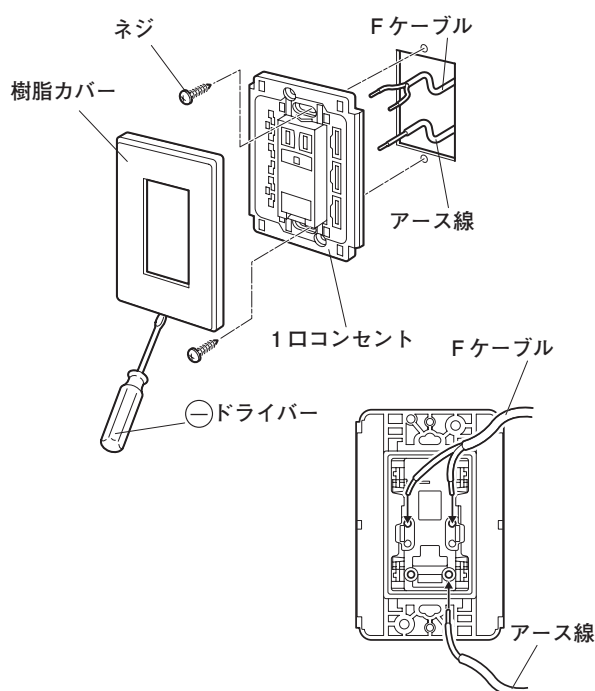


4. 取付・設置手順（続き）

（8）家電品収納トールの配線工事（1口コンセント）

事後工事

- ① キャビネットの背板についている1口コンセントの樹脂カバーを、下の溝にドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- ② 取付枠の上下の取付ネジを外し、1口コンセントを背板から取り外してください。
- ③ 1口コンセント取付口よりFケーブル（1本）とアース線（1本）をキャビネット内に引き込み、1口コンセントに接続してください。
 - Fケーブルおよびアース線は芯線がφ 1.6のものをお使いください。
 - Fケーブルおよびアース線の接続コードの被覆の剥く長さを、1口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（12mm）、被覆を剥いてください。
 - Fケーブルおよびアース線の芯線を1口コンセントに確実に差し込みます。
- ④ 配線工事終了後、1口コンセントを①で取外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。



⚠ 注意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15A 以上のものを単独で使用する。



接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。

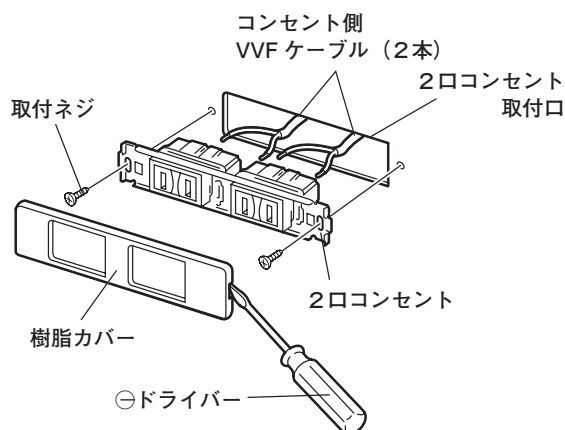
（9）蒸気排出ユニットの家電品収納トールへの取付け

- ① 蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書をご確認の上、キャビネットに取付けてください。

（10）蒸気排出ユニットの配線工事

事後工事

- ① キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝にドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- ② 取付枠の左右の取付ネジを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- ③ キャビネットに同梱のコンセント側 VVF ケーブル（2本）を2口コンセントに接続してください。
 - コンセント側 VVF ケーブルの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - コンセント側 VVF ケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。



4. 取付・設置手順（続き）

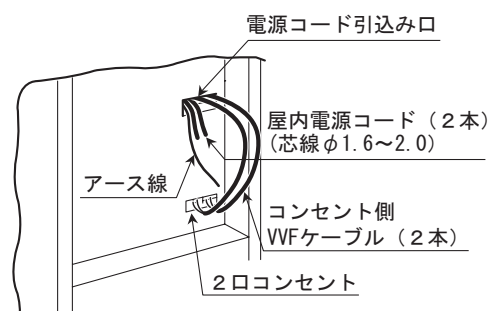
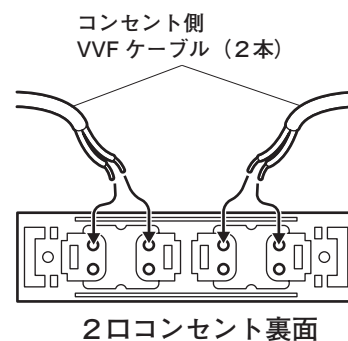
(10) 蒸気排出ユニットの配線工事（続き） 事後工事

- ④ 配線工事終了後、2口コンセントを ① で取外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。
- ⑤ 屋内電源コード（2本）と ③ で結線したコンセント側 VVF ケーブル（2本）を家電品収納庫の電源コード引込み口からキャビネット内に引込み、蒸気排出ユニットに結線してください。
- ⑥ 蒸気排出ユニットの結線方法については蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書をよくお読みのうえ正しく設置してください。
- ⑦ 設置終了後は蒸気排出ユニットの作動を必ずご確認ください。

※ コンセント及び蒸気排出ユニットに結線するための VVF ケーブルの被覆を剥ぐ長さが異なりますのでご注意ください。

コンセント側 : 13mm

蒸気排出ユニット側 : 15mm



⚠ 注 意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15 A 以上のものを単独で使用する。
- 蒸気排出ユニットへの配線、作動確認は、蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書を確認する。



接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。

(11) ダンパーの取外し方法・取付方法

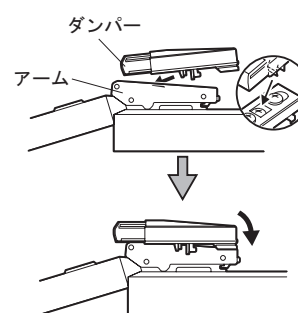
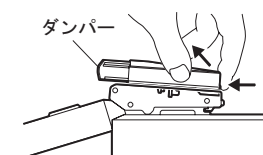
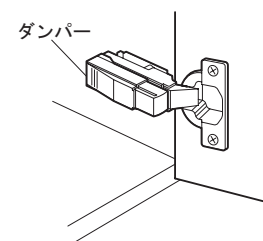
- 右図のようなダンパーは取付け・取外しができます。扉の調整をする場合はダンパーを外してから扉の調整を行ってください。

ダンパーの取外し方法

ダンパー先端部を上を持ち上げながら手前に引く。

ダンパーの取付け方法

ダンパー下部の爪をアームの長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押す。上から少し押し、カチッと音がするまで押し込んでください。簡単に外れたりしないことを確認してください。



⚠ 注 意

- ダンパーの取外し、取付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。

けがをするおそれがあります。



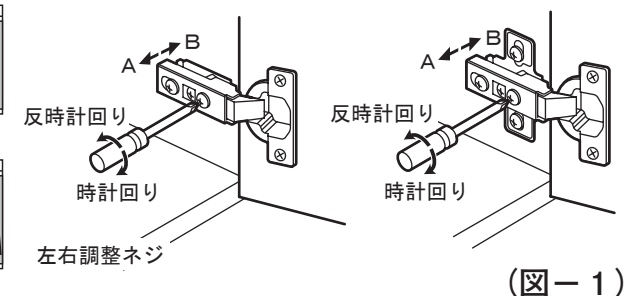
4. 取付・設置手順（続き）

(12) 扉・引出しの調整方法

① 扉の調整方法

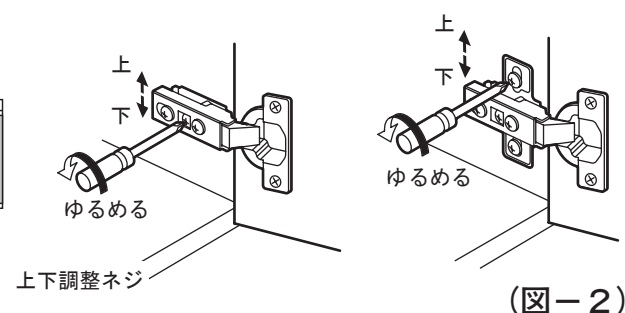
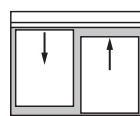
- ダンパー付きの場合は、ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。
(⑪ページ参照)

- 左右傾きの調整をする場合（図－1）
左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mm までとしてください。



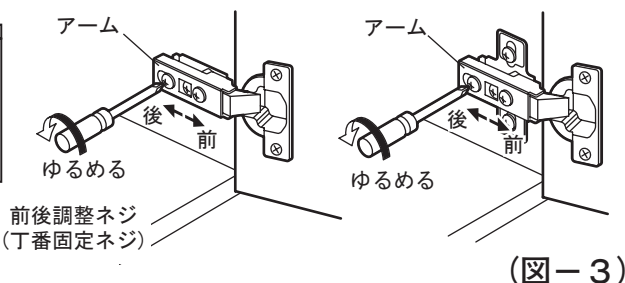
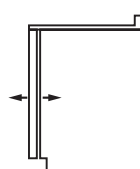
(図－1)

- 上下の調整をする場合（図－2）
上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。
(丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ネジをゆるめて扉を調整してください。)



(図－2)

- 前後の調整をする場合（図－3）
前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かし扉の調整をします。
調整後はネジをしっかりと締めつけてください。



(図－3)

- ダンパー付きの場合は、ダンパーを取付けてください。
(⑪ページ参照)

⚠ 注意

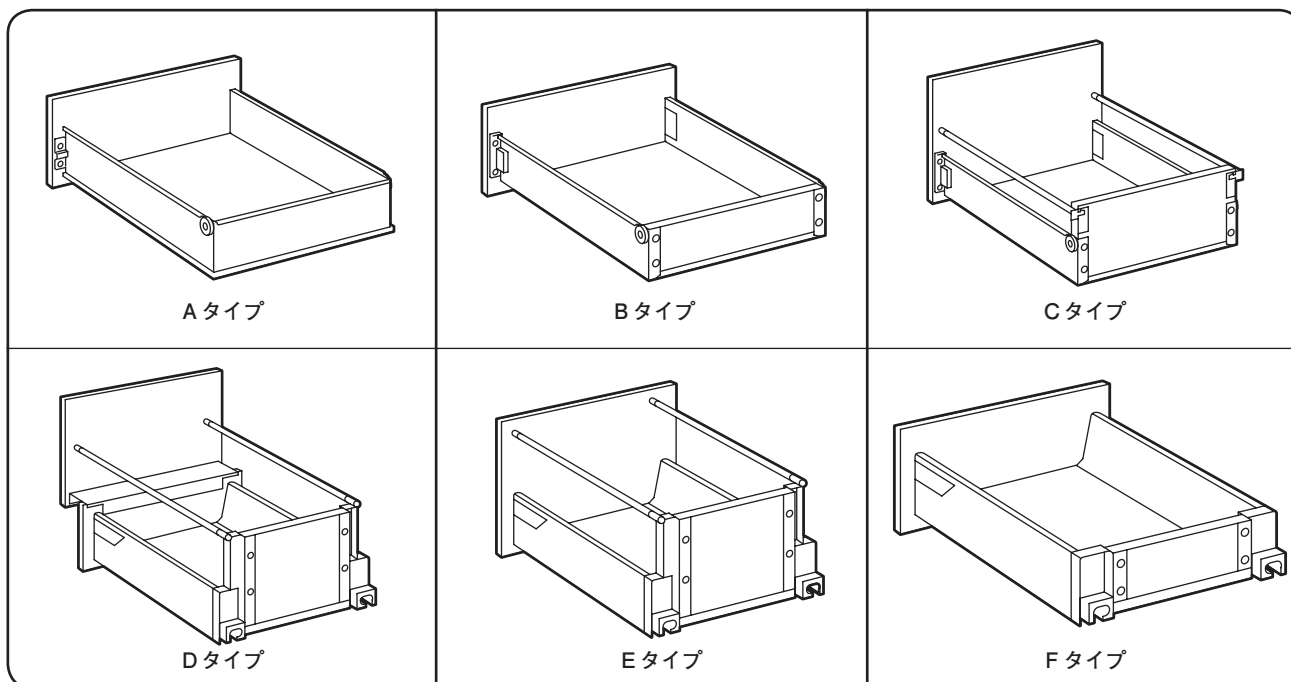
- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



4. 取付・設置手順（続き）

引出し前板の調整は、各タイプの調整方法に従って調整を行ってください。

引出しのタイプ

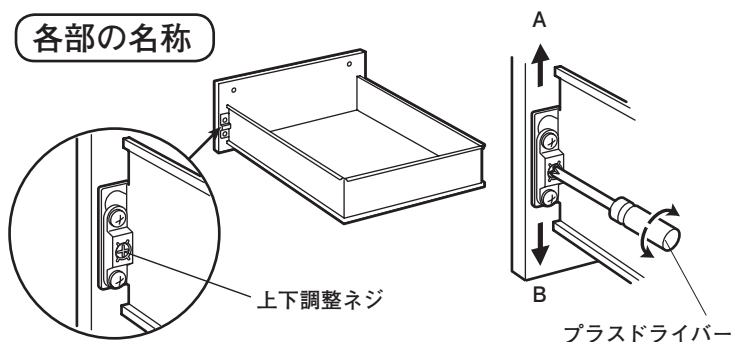


②引出し前板の調整方法（Aタイプ）

上下調整をする場合

上下調整ネジを回して調整が行えます。
上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。

各部の名称

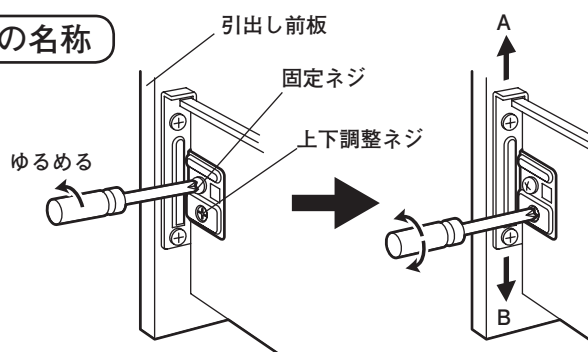


③引出し前板の調整方法（B・Cタイプ）

上下調整をする場合

- 左右両方固定ネジをゆるめます。
- 上下調整ネジを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
- 調整後は固定ネジをしっかりと締め付けてください。

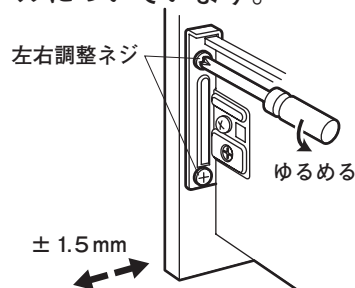
各部の名称



左右調整をする場合

- 左右両方の左右調整ネジをゆるめ、前板を左右に調整してください。
- 調整後は、左右調整ネジをしっかりと締め付けてください。

※上下調整ネジは左右両方の引出しレールについています。



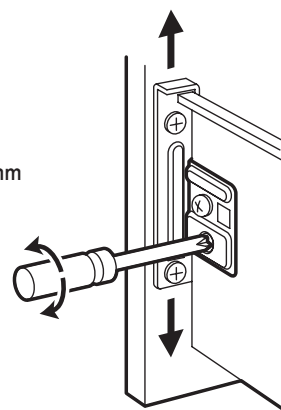
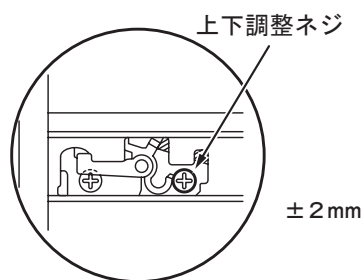
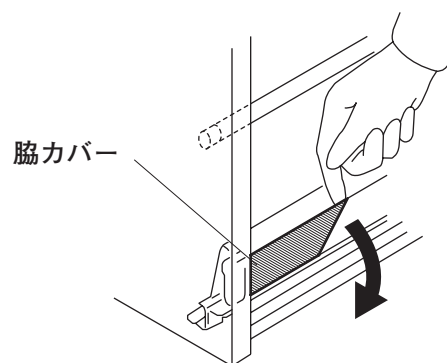
4. 取付・設置手順（続き）

④ 引出し前板の調整方法 （D・E・Fタイプ）

● 上下調整をする場合

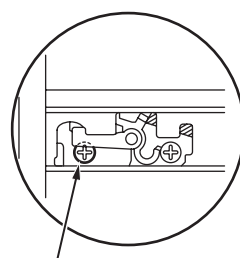
- 1) 脇カバーを取り外してください。
外す際は上から下に押すようにしてください。
- 2) プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

※ 上下調整ネジは一方方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。

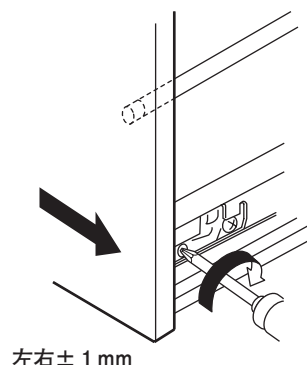


● 左右傾きの調整をする場合

- 1) 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整します。回し過ぎると左右調整ネジが外れることがあります。外れた場合は元の位置に取付けて再度調整してください。
- 2) 必ず左右両側の調整を行ってください。
- 3) 調整後は、脇カバーを取付けてください。

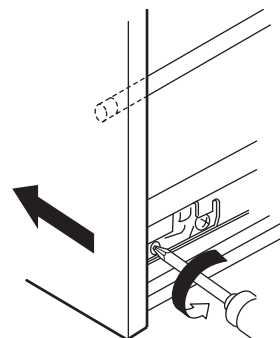
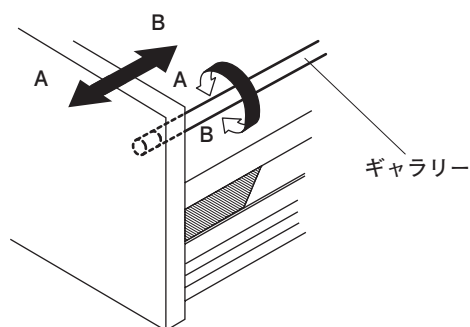


左右調整ネジ



● 前後の調整をする場合（D・Eタイプ）

ギャラリを回すと、前板を前後に調整できます。



4. 取付・設置手順（続き）

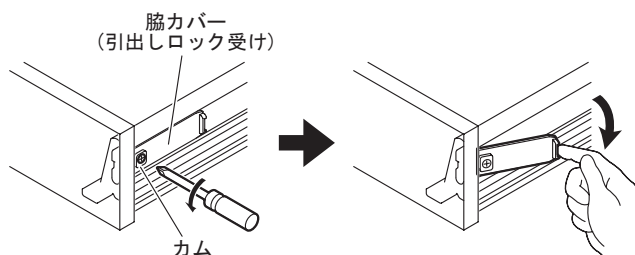
⑤ 引出し前板の調整方法（ロック機構付タイプ）

● 上下の調整をする場合

1) 脇カバー（引出しロック受け）を取り外してください。

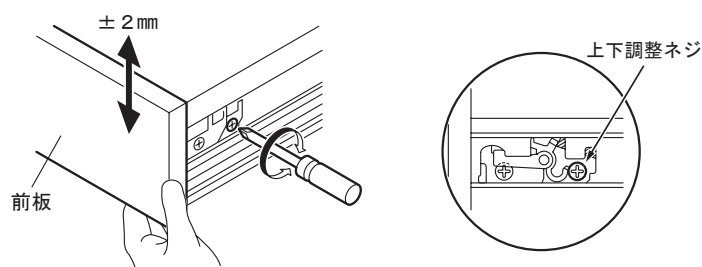
1) - 1 脇カバー（引出しロック受け）のカムを反時計回りに 45° 回転させてください。

1) - 2 脇カバー（引出しロック受け）を取り外してください。



2) プラスドライバーで上下調整ネジを回すだけで上下調整できます。

※ 上下調整ネジは一方方向に回し続けると上下動（± 2 mm）をくり返します。

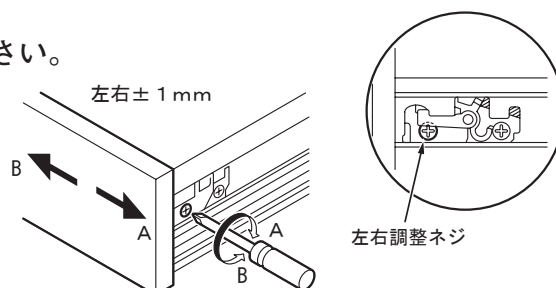


● 左右の調整をする場合

1) 左右調整ネジを回して、前板を左右に調整してください。

2) 必ず左右両側の調整を行ってください。

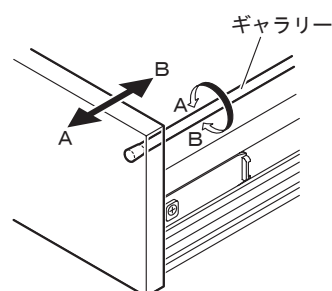
※ 回しすぎるとネジ（樹脂部材）が痛みますので注意してください。



3) 調整後、脇カバー（引出しロック受け）を取付けてください。

● 前後の調整をする場合

1) ギャラリーを回して、前板を前後に調整してください。



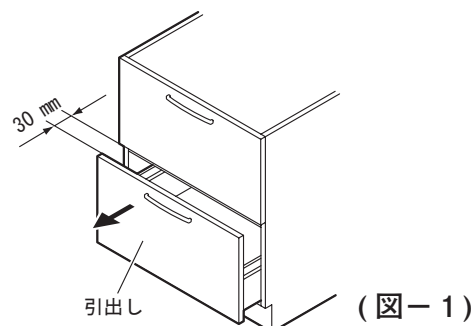
⑥ ロック機構解除方法

● キャビネットが傾いた状態で設置されたり、地震でキャビネットが傾いた場合、ロックが掛り解除されませんので、下記方法で強制解除を行ってください。

（地震の揺れがおさまって静止状態になると、通常はロックが自動的に解除されます）

1) 引出しを手前に引いてください。

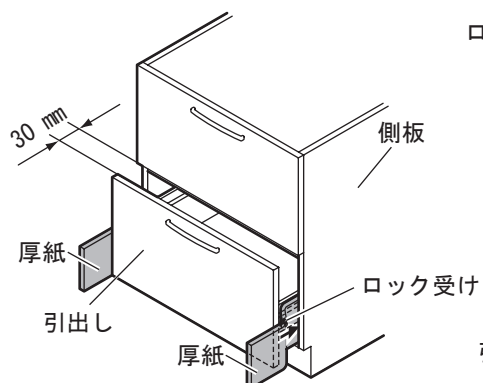
（30mm 程度のすき間ができます。）（図－1）



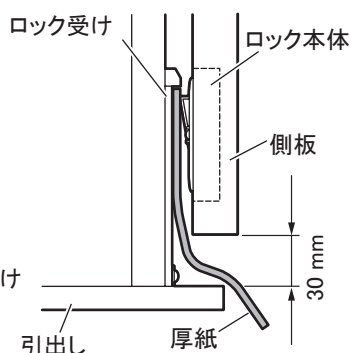
4. 取付・設置手順（続き）

⑥ロック機構解除方法（続き）

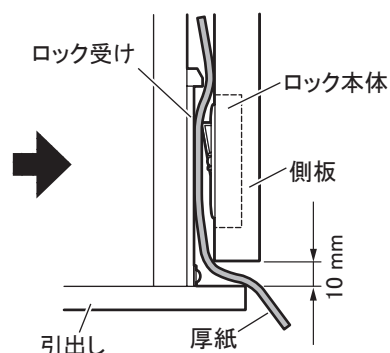
- 2) 引出しを 30mm 程度から 10mm 程度閉めながら厚紙（ダンボールなど：10cm×30cm 程度）を左右のロック本体とロック受けの間に差込んでください。（図－2、図－3、図－4）



（図－2）



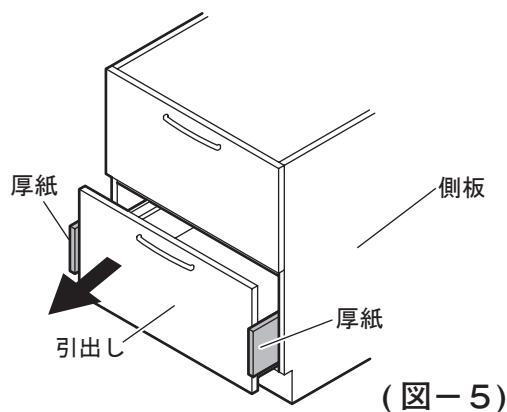
（図－3）



（図－4）

- 3) 厚紙を差込んだまま引出しを引出してください。（図－5）

- 4) キャビネットの傾きを修正してから引き出しを入れ直してください。

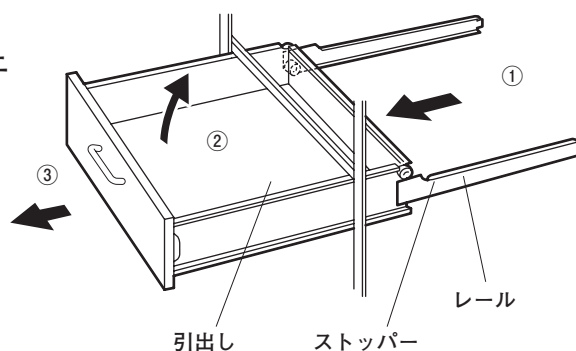


（図－5）

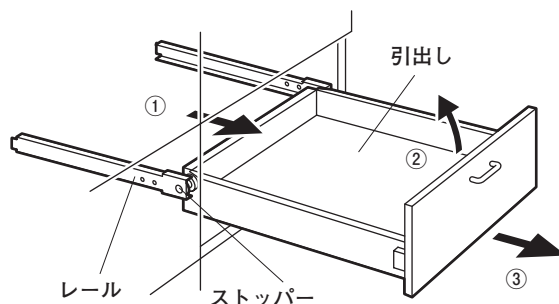
⑦引出しの取外し方法（A・B・Cタイプ）

- 引出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ストッパーに当たりましたら、引出しを上を持ち上げます。
- 引出しを手前に引き出します。

Aタイプ



B・Cタイプ

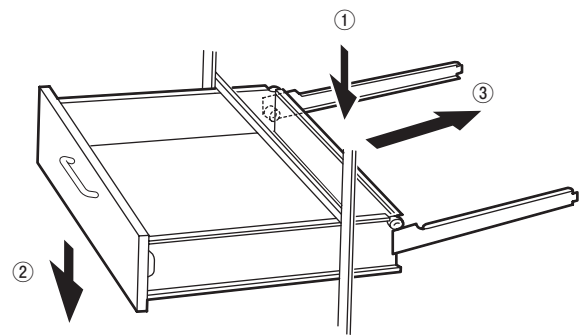


4. 取付・設置手順（続き）

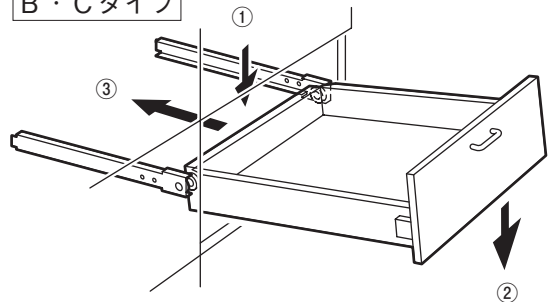
⑧引出しの取付け方法（A・B・Cタイプ）

- 引出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ストッパーが引出しレール側のローラーを乗り越えたら、引出しを水平にします。
- 水平に押し込みます。

Aタイプ



B・Cタイプ



⚠ 注意

- 取り外す際には引出し内の収納物をすべて出し、必ず引出しに両手を添えて取り外す。

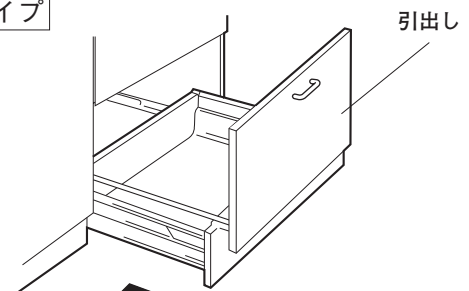
引出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



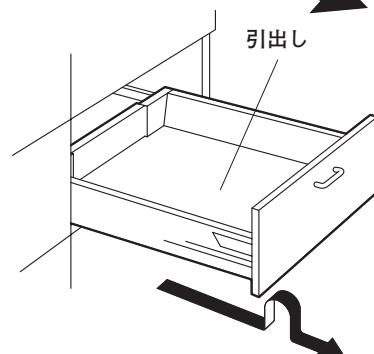
⑨引出しの取外し方法（D・E・Fタイプ）

- 引出しをいっぱいまで引いてください。
- 少し上に持ち上げて引いて取り外してください。

Dタイプ



E・Fタイプ

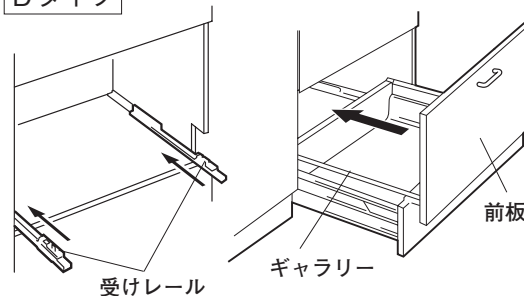


4. 取付・設置手順（続き）

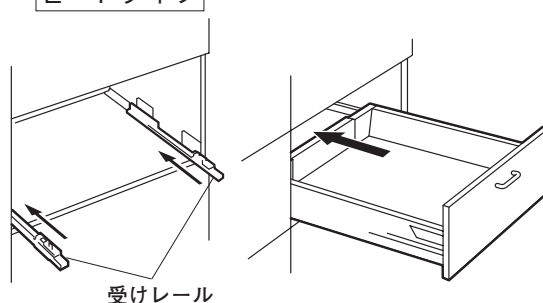
⑩引出しの取付け方法（D・E・Fタイプ）

- 受けレールを奥まで入れてください。
- 引出しを受けレールに乗せてください。
- カチャと音がするまで引出しを押し込んでください。

Dタイプ



E・Fタイプ



⚠ 注意

- ギャラリーを持たない。

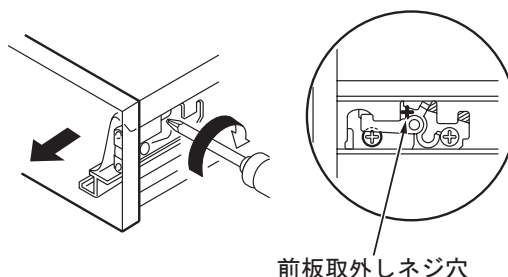
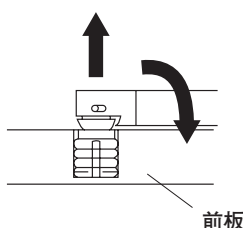
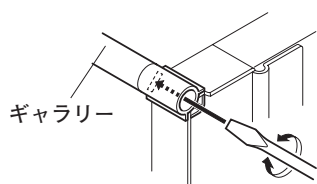
ギャラリーが外れて引出しが落下し、けがをするおそれがあります。



⑪引出し前板の取外しと取付け方法（D・E・Fタイプ）

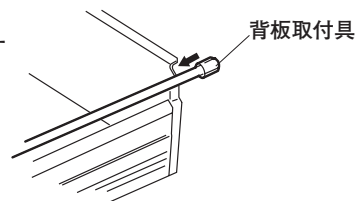
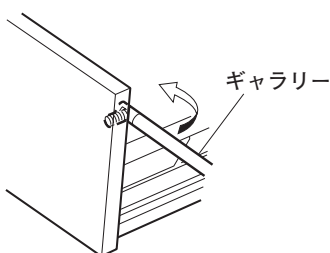
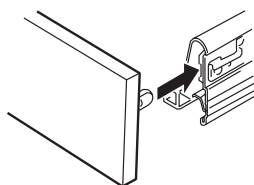
●引出し前板の取外し方

- 1) ギャラリーの背板側にマイナスドライバーを差込み、回して取外してください。
- 2) 前板はギャラリーを倒して、ダボを抜いてください。
- 3) 前板取外しネジ穴へプラスドライバーを差込み、矢印の方向に回して引出しを取外してください。



●引出し前板の取付け方

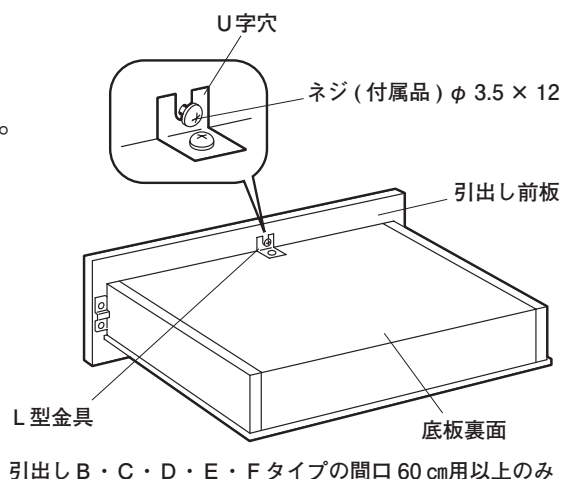
- 1) 前板取付金具を引出し側部に押し込んでください。
- 2) ギャラリー先端ダボを前板下穴に入れて、ギャラリーを起こしてください。
- 3) 背板取付具にギャラリーを押し当て、取付けてください。



4. 取付・設置手順（続き）

⑫引出し前板と引出しの固定

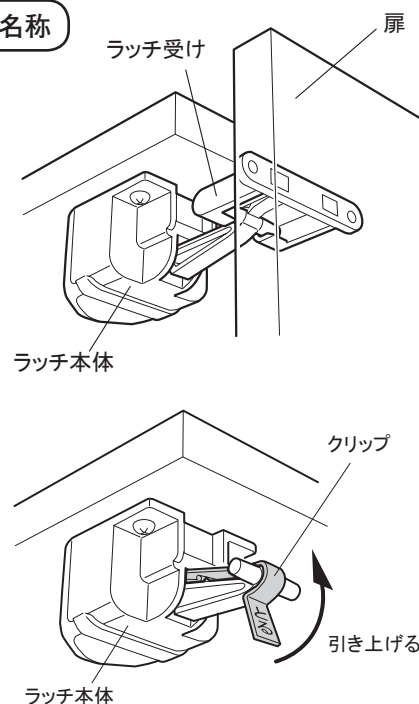
引出し前板の調整後に引出し底板に取付けてある
L型金具を付属ネジにて引出し前板に固定します。



(13) ロック機構について

- 製品出荷時には、輸送及び取付中のロック防止の為、ラッチ本体に黒色のクリップが取付けてあります。壁面取付後に下記の方法にてクリップを取外してください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直になっていることを確認してください。水平・垂直に取付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。
(ラッチ本体が、左右で 1.6°、前後で 2° 以上傾くとロック機構が働きます。)
- クリップの取外し方法
キャビネットを壁面取付後、クリップ下部のツマミを持ち、手前上方に引き上げるようにして取外してください。

各部の名称



⚠ 注 意

- クリップを必ず取外す。

取外しないとロック機構が作動しません。



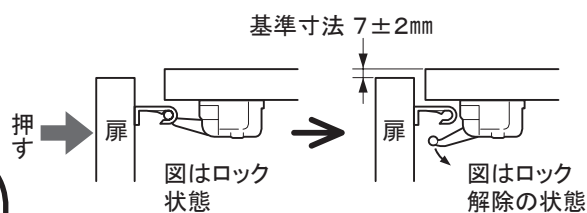
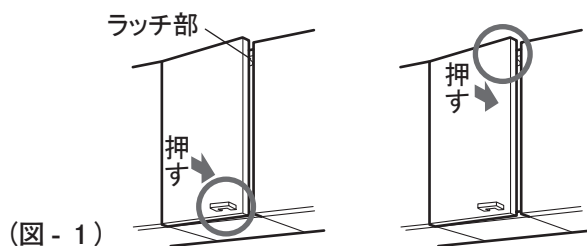
● ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押してください。(図 - 1)

※解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。

- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。
設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



⚠ 注 意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

ロック機構が動かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



4. 取付・設置手順（続き）

（14）機器の設置、電気工事

- 各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。
- 電気工事については、各工事の「有資格者」が工事を行ってください。

5. 仕上げ

（1）清掃

- ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

注 意

- 清掃をする場合は台所中性洗剤を使用する。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤を使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



6. 点検

（1）安全点検

- ・取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

7. 完了後の処置

（1）商品の養生について

- ・製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。

（2）取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

8. 残材処理

（1）梱包材その他残材の処置

- ・不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel.03-5248-5500 www.housetec.co.jp